

平成22年10月15日発行

編集・発行
 社会福祉法人 向日市社会福祉協議会
 京都府向日市寺戸町西野辺1番地の7
 向日市福祉会館内
 TEL.075-932-1960 FAX.075-933-4425

ふれあいと思いやりのまち

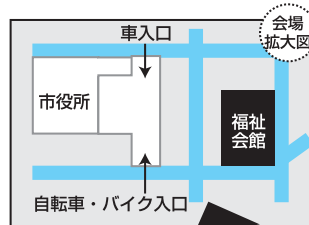
7.67
 むこう

むこう市社協だより

福祉パレット



第3回 社協まつり



駐車場には限りがありますので、徒歩や自転車、車の相乗り等のご協力をお願いします。



入場無料



平成22年11月7日(日) 午前10時～午後3時
 場所 向日市福祉会館 (向日市寺戸町西野辺1-7)

主催/向日市社会福祉協議会 後援/向日市・京都新聞社
 お問い合わせ 932-1960

社協まつりでは、向日市社会福祉協議会と地域の福祉関係団体(ボランティアグループ・ふれあいサロン・地区社協・福祉施設)が、日ごろの活動をPRしたり、作品の展示・販売を行います。

また、模擬店や人形劇、ビンゴゲームなどもありますので、ご家族やご近所おそろいで、ぜひお越しください。

内 容



きりとり

第3回社協まつり
ポップコーン無料券
 午前10時～午後2時
 先着500名

きりとり

- 模擬店 午前10時～
 やきそば、カレー、おでん、フランクフルト、コロッケ、からあげ、おむすび、スーパーボールすくい、ヨーヨーつりなど
- 人形劇 午前10時30分～ 『京芸』
- 落語 午前11時50分～
- パネルシアター 午後0時45分～
- マジックショー 午後1時40分～
- ビンゴゲーム 素敵な景品多数あり
- もちつき 午後0時～
- オリジナルハンカチ作成
- ちびっこ鉄道模型
- ボランティア団体・福祉団体による展示・舞台発表
- サロン展示体験
- 福祉施設・団体作品展示販売
- 福祉用具展示販売
- 野菜販売
- キッズルーム 楽しいおもちゃがいっぱい
- ミニステージ (オカリナ・民謡・合唱・ハーモニカ・手話合唱・ハンドベル)

社協会費へのご協力ありがとうございます

平成22年度社協会費実績報告

平成22年度 社協会費募集報告

(単位：円)

地区名	一般会員 一口500円	特別会員 一口3,000円	名誉会員 一口10,000円	賛助会員 一口5,000円	合計
物集女	870,200	9,000			879,200
寺戸	1,534,900	48,000	10,000		1,592,900
森本	353,500	24,000	10,000		387,500
鶏冠井	438,300	15,000			453,300
上植野	470,800	54,000			524,800
向日	131,500	15,000	10,000		156,500
西向日	184,500	9,000	10,000		203,500
向日台	131,500	12,000	10,000		153,500
その他				730,000	730,000
合計	4,115,200	186,000	50,000	730,000	5,081,200

平成22年 8月31日現在

多くの皆様の深いご理解のもとにご協力いただきました社協会費は左記のとおりです。本当にありがとうございます。この会費は、子どもや高齢者、障がい者に対する福祉活動を推進するうえで、貴重な財源となるものです。福祉のまちづくりの有効活用させていただきます。

特別会員

- 物集女 (物集女) 大西雅一、堀越雅朗、渡辺明美、(寺戸) 足立敏幸、稲本正巳、岩本恒典、梅地洋子、岡崎潔、岡田ミチ、小西かずゑ、仲島隆夫、檀上恵真、中村義之、中村薫、長谷川純、松田昭彦、山田千枝子、山本寿也、(森本) 木村定次、清水重行、清水敏和、清水正和、清水義和、杉本浩彰、塚本和子、中野三武郎、(鶏冠井) 生嶋伸一、生嶋正巳、板垣喜代子、大田すみ子、川崎訓愛、(上植野) 植野廣一、小野豊一、鎌田高久、窪山邦彦、窪田喜和、小野喜和、佐野喜和、澁谷三郎

名誉会員

- 清水大蔵、嶋田和、鈴木美智子、西田美智子、古市ちる子、堀池清治、水本允武、森野郁弘、矢野章也、余田章弘、(向日) 奥田章雄、小田章雄、小林和修、小田和子、嶋田十郎、(株)矢尾卯、(西向日) 協和不動産、戸倉米造、長尾繁喜、(向日台) 岡山博一、高木省二、原田弘彦、山本隆彦

賛助会員

- 病院・医療機関等 赤川歯科クリニック、あらかわ医院、伊原薬局、上原医院、堀野医院、大塚歯科医院、大原歯科医院、岡崎歯科医院、乙訓医療生協医誠会、乙訓調剤薬局向日町店、角水医院、加藤小児科医院、かわかみ調剤薬局、東向日店、きくおかクリニック、北原歯科医院、木ノ下整骨院、(医) こばやし、耳鼻咽喉科医院、坂根歯科医院、笹川医院、繁本医院、清水接骨治療院、鈴木内科外科診療所、第二京都回生病院、竹内歯科医院、武田医院、(有) おかざき、大橋山田合同事務所、(有) おかざき、岡崎鉄工商会、オカダ酒店、岡田石材、梶測量設計事務所、片山米穀店、かどや、(株)瓦熊、(株)神崎屋、木下建設(株)、京たけのこ森庄、京都衛生開発公社、(株)京都銀行、東向日町支店、(株)京都銀行、向日町支店、京都新聞中販売所、京都新聞、京都新聞向日町販売所、京都中央信用金庫、京都中央信用金庫、東向日支店、京都中央信用金庫、向日町支店、(株)マルナカ薬局、向日町支店、京都中央農業協同組合、(株)ユニス、京都トヨペット(株)、向日支店、乙訓営業所、きりん園本店、京滋三菱ふそう、自動車販売(株)、(有) 向陽美広社、向陽ゴルフセンター、向陽福祉会向陽苑、小山家具、佐藤会計事務所、ジーエス・ドイ、テック(株)、(有) 志賀サイクル、シミズクリーニング、杉本モーターズ、本店、杉山建材、(有) スマイルケア、(有) 高橋自動車、タックメイト万源酒店、建口石材(有)、(株)タミアキ造園土木、東洋ライト(株)、東洋洋工(株)、(有) 富安水工店、ナカライテスク(株)、西の丘ローン、テニスクラブ、日東薬品工業(株)、ヌフ、(株)野村龍酒店、橋本住宅、長谷川電機、花久オフィス、サービス(株)、(株)原田ソール、ウオーターファッションマリイ、(株)藤田興業、(株)アールサロン、ナカノ舞鶴倉庫(株)、京都営業所、丸正倉庫(株)、(株)マルヤス、向日市商工会、(株)矢尾卯、(株)安井全工務店、(有) 山口石油、(有) 山本商会、ユアサ化成(株)、(株)ワイエー物流、(有) 和光下村、その他、向日市副市長、向日市教育長、向日市役所部長、向日市役所副議長、向日市役所課長

平成22年度 特別会員、名誉会員、賛助会員 (50音順、敬称略)

まちかどウォッチング



7月31日(土)、「子ども映画会」(2回上映)を開催したところ、親子連れなど計810名の参加者がありました。

この映画会は、福祉に興味、関心を持ってもらえるよう開催したもので、市内の福祉活動の紹介や指文字をデザインした下敷きの配布も行いました。

参加者からは、「子どもと一緒に映画を楽しむことができました」という感想をいただき、家族一緒に楽しめる行事として、夏の思い出の一つになったと思います。

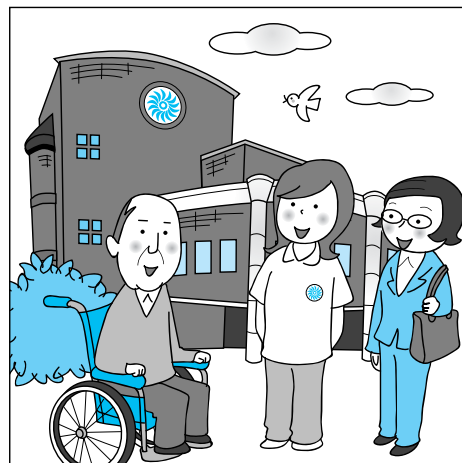
家族一緒に映画鑑賞



撮影：平成22年7月31日(土)

まちがいさがしクイズ

下記の2つのイラストには、まちがいが5つあります。さがしてこたえてください!



*応募方法

はがき又はFAXに、①回答②氏名③住所④今月号で特に関心があった記事(複数回答可)⑤「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5名に図書カードをプレゼントします。

*締め切り

平成22年11月30日(火)まで必着

*送り先

〒617-10002

向日市寺戸町西野辺1の7
向日市福祉会館内 総務係

FAX 93314425

くらしの資金(冬季)のお知らせ

疾病や失業等により、一時的にお金のやりくりに困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために、「くらしの資金」の貸付相談を受付けます。

受付期間

12月1日(水)~14日(火) 午前9時~午後4時
(土・日曜日を除く) ◎要予約

貸付限度額

1世帯あたり10万円以内

●ご相談は、地域福祉係(電話932-1961)まで。

善意のご寄付ありがとうございました。

(平成22年5月20日~平成22年9月16日)

恒田 三千雄 様	30,000円
匿名	100,000円
匿名	10,000円

あたたかいお正月を迎えていただくために

おせち料理配食のお知らせ



対象者 市内在住で70歳以上のひとり暮らしの方

料金 2,000円

内容 6寸1段(4,000円相当)

申込 配食を希望される方は、お住まいの地区担当の民生委員を通じてお申込みください。

※11月1日(月)~12月8日(水)まで

くわしくは地域福祉係までお問合わせください。

向日市社協ボランティアセンターの紹介

当センターではボランティア活動を推進するために、さまざまな事業を行っています。

ボランティアを始めたい方には!!

ボランティア入門講座の開催、ボランティア活動の紹介や相談を受け付けています。



ボランティア活動中の方には!!

情報提供や活動助成、ボランティア同士の交流会、研修会による活動の支援を行っています。活動拠点としてボランティア活動ルームの利用ができます。

ボランティア登録受付中

個人や団体の登録を随時受け付けています。初めての方には体験プログラムがあります。興味のある方はお気軽にご相談ください。

主なボランティア活動の例

高齢者の話し相手、ゴミ出し協力、介護施設やデイサービスでの活動、ふれあいサロン等。



ボランティア活動ルーム



ボランティアが必要な方には!!

例えば…
高齢者の見守りや話し相手、ゴミ出しのお手伝い、イベントのボランティア、障がい児・者への支援のボランティアを紹介します。

ボランティアを広げるために!!

福祉教育の講師としてボランティアを派遣します(福祉とボランティアの出前教室)。万が一の事故やケガに備え、ボランティア保険の加入手続きができます。

健康 コラム

元気に秋を過ごしましょう!

異常に暑かった夏も過ぎ、流れる雲や通る風に秋を感じます。読書の秋、運動の秋、食欲の秋…など、一年の中でも過ごしやすい季節の到来です。

しかし、夏の疲れた身体に、気候の変化が重なって体調を崩される方もあります。

消化機能の弱った胃腸や、睡眠不足による体力の低下、屋内外の温度差による自律神経の乱れなどにより、身体が疲れていることがあります。

元気に秋を迎え、楽しむためには??

①食事

胃腸の働きが弱っています。

規則正しくバランスよく、温かいものを良く噛んでゆっくり食べましょう。

②入浴

シャワーでは身体の疲れは取れません。40度前後のお湯で入浴し、身体を温め、体力を回復しましょう。

③体温調節

室温20度前後を目安に、温度調節できる服装で、お腹や下半身を保温しましょう。日頃から薄着に慣れると風邪をひきにくくなります。

④運動

涼しくなると汗をかかなくなり、体内に疲労物質がたまらな

いように、軽い運動やウォーキングなどで適度に身体を動かしましょう。



体力や食欲をきちんと回復し、いろいろな秋を楽しみましょう。

「ボランティア体験プログラム2010」参加者募集

みんな笑顔でボランティア！新しい出会いを見つけよう！

市内の福祉施設でボランティア体験ができます。

ボランティア活動の「きっかけ」がないと言われる方、この機会に普段の生活では得ることができない経験をしてみませんか？

くわしくは、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

プログラム(活動先)にもよりますが、概ね3日間以内の体験です。

3つのコース

学生向け(高校生以上)

進学や就職で福祉や介護を希望されている方

勤労者向け

福祉の仕事に興味がある・社会貢献したい方

シニア向け

地域活動やボランティア活動をして、まだまだ現役でがんばろうと思っっている方

高齢者や障がい者、子どもたちとふれあって、心と体を動かそう！

【参加対象】 市内在住、在学、在勤の方 ※高校生は保護者の同意書が必要

【参加費】 無料(ただし、食費・交通費等、ボランティア保険代は実費)

【お問い合わせ・お申込み先】 向日市社会福祉協議会ボランティアセンターまで

「福祉とボランティア」出前教室

ただいま、申込み受付中!!

向日市社協ボランティアセンターでは登録ボランティアや福祉事業・団体の職員、当事者を講師として派遣する出前教室を行っています。



お申込みは、開催日より1か月前までにお願います。プログラム内容に応じて講師を紹介させていただきます。

なお、日程等によりご希望に沿えない場合もあります。

対象：小学校、中学校、高等学校、PTA、子ども会、自治会、事業所、本会賛助会員

プログラム例

①	点字(点字体験・当事者講話)
②	アイマスク(アイマスク体験・当事者講話)
③	手話(手話体験・当事者講話)
④	車椅子(車椅子体験・当事者講話)
⑤	要約筆記(OHP体験・当事者講話)
⑥	セラピードック(講話・実演)
⑦	その他福祉・ボランティアに関する講習会(体験学習)など

お問い合わせ・お申込みは

向日市社会福祉協議会ボランティアセンターまで

TEL932-1961

日程と内容

回	日時	内容	講師
1	11月11日(木)	「地域で高齢者のくらしを考える」～地域・ボランティア活動で支えあう仕組みづくり～	同志社大学社会福祉学科講師 永田 祐さん
2	11月18日(木)	「京都の高齢者見守り隊事業について」～高齢者の孤立を防ぎ、地域のつながりを築く～	京都府社協職員他市町の高齢者見守り活動実践者
3	11月25日(木)	「向日市の高齢者見守り活動について」～地域福祉の実践と課題について～	向日市社協職員、向日市の高齢者見守り活動実践者
4	12月2日(木)	高齢者の生きがいを支援しよう～認知症(精神障害)の基礎知識と作業療法～	佛教大学保健医療技術学部 教授 赤松 智子さん
5	12月10日(金) ※市民会館にて開催	高齢者の自立支援へのアプローチ～高齢者とのコミュニケーションと関係づくり～	龍谷大学社会学部臨床福祉学科 教授 村井 龍治さん
6	12月16日(木)	「活動にあたってのセルフマネジメント」～高齢者を見守るリスクと対応について～	市高齢介護係職員、警察署職員、消防署職員
7	12月24日(金)	「地域づくりを展開するために」～公助・共助・互助・自助の仕組みを仕分けする～	同志社大学社会福祉学科講師 永田 祐さん

※5日以上受講された方には修了証を発行します。

地域サポーター養成講座のご案内

高齢者を訪問し、話し相手や見守りをすることで、孤立を防ぎ、不安や寂しさを理解し、高齢者の気持ちに寄り添う活動を行う「地域サポーター」というボランティアがあります。

この講座では、地域サポーターの養成を目的に、地域でできるちょっとした活動や個別ニーズの対応等について講義やディスカッションを交えて学びます。

この機会に、地域での支えあいについて一緒に考えてみませんか？

一回だけの受講も可能です。是非ご参加ください。

場所：向日市福祉会館 3F大会議室

(※12月10日のみ市民会館の予定)

時間：午後1時30分から4時まで

定員：35名 (先着順)

お問い合わせ・お申込み先は

向日市社会福祉協議会ボランティアセンターまで

TEL932-1961

居宅介護支援センターってどんなところ？

一緒に
考えます！

あなたらしく、自立した生活を
送っていただくために…。

現在、向日市の65歳以上の人口は、約1万2千人です。そのうち約1千8百人の方が介護保険の要介護認定を受けてられています。

介護保険は、介護を必要とする方が、可能な限り、自分らしく自立した生活を送ることができるよう、在宅と施設の両面にわたって、必要なサービスの提供を受ける制度です。

サービスには、在宅サービスを中心に、通所施設や、短期間施設に泊まって利用する



サービスなど次のようなサービスがあります。

- 介護老人保健施設
- 介護療養型医療施設 等

◆在宅で利用するサービス

- 訪問介護（ホームヘルプサービス）
- 訪問入浴介護
- 訪問リハビリテーション
- 訪問看護
- 居宅療養管理指導

◆施設に通って利用するサービス

- 通所介護（デイサービス）
- 通所リハビリテーション（デイケア）
- ◆ 短期間施設に泊まって利用するサービス
 - 短期入所生活介護（ショートステイサービス）
 - 短期入所療養介護（医療型ショートステイサービス）
- ◆ その他のサービス
 - 福祉用具貸与・購入
 - 住宅改修
 - 地域密着型サービス
 - 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

また、高齢者の交流の場である「ふれあいサロン」や「配食サービス」などの介護保険以外のサービスもあります。

居宅介護支援センターでは、サービスを希望される方に「ケアプラン」の作成を通じて、介護保険のサービスと介護保険以外のサービスを組み合わせながら、その方の心身の状態に合ったサービスが利用できるように、お手伝いをしています。

「最近、体がしんどくなってきて、思うように家事ができなくなってきた。」「閉じこもりがちな生活を送っているのので、人と交流したり、身体を動かしたりする機会を作りたい。」「最近、足腰が弱ってきたので、玄関や浴室に手すりを設置したい。」などのお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

認知症フォーラム

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

認知症フォーラムを開催します。お気軽にご参加ください。

- 日時** 平成22年12月17日(金) 午後1時30分から4時
- 会場** 向日市民会館ホール
- 内容** ①講演

「本人・家族支援を中心とした認知症ケアと地域づくり」

講師 認知症介護研究・東京研修センター
研究部副部長 永田 久美子さん

②オープンミーティング

- 参加費** 無料
- 定員** 400人
- 申込先** 向日市地域包括支援センター

TEL：075-921-1550、FAX：075-933-4425



この事業は「認知症総合対策事業」として京都府から委託を受けて開催します

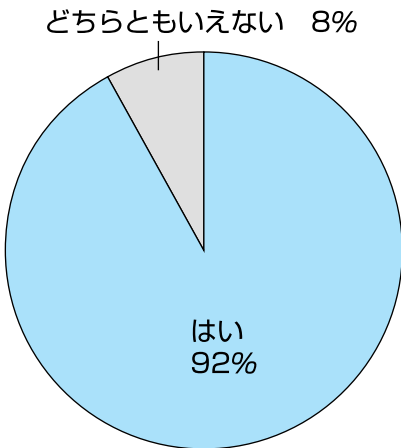
ホームヘルプサービス「利用者アンケート」の結果

ホームヘルプセンターは、毎年「利用者アンケート」を実施し、質の高いサービスが提供できるよう努めています。

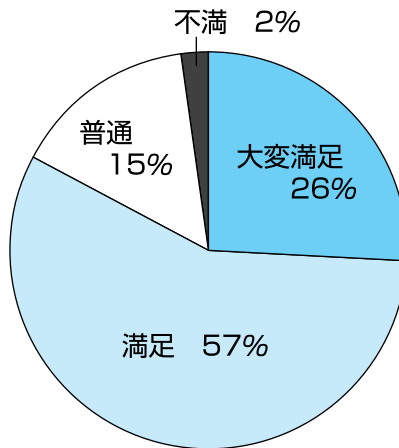
○実施期間 平成22年5月24日（月）～平成22年6月19日（土）

○対象 187名（すべての利用者） ○回答 132名（70.6%）

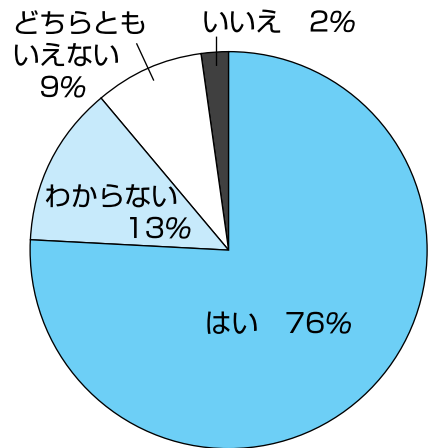
質問 ヘルパーの言葉遣いや態度、気遣い、誠実に丁寧に仕事をしていますか。



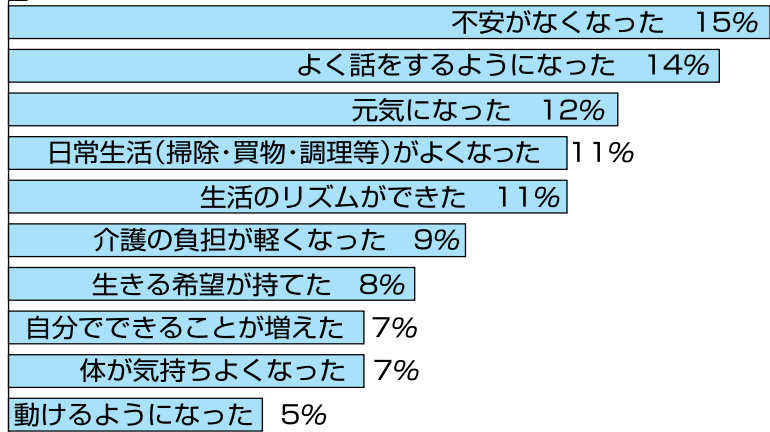
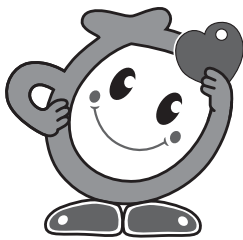
質問 ヘルパーの援助に満足していますか。



質問 要望や苦情、改善の取り組みができていますか。



質問 ヘルパーの援助を受けるようになって、変化がありましたか。



意見・要望	改善
ヘルパーの引継でたまに行き違いがある。	一度の引継で確実に援助ができない場合はサービス提供責任者が同行訪問し、行き違いのないようにします。
ひとり暮らしなので、医療機関への通院に付き添ってほしい。	介護保険と社協独自の「院内サポートサービス（30分、500円）」を利用できる場合がありますので、ケアマネジャーにご相談ください。
サービスの時間はどのような基準ですか。	介護保険では実際のサービス提供時間ではなく、利用者の居宅サービス計画（ケアプラン）に定められた目安の時間を基準としています。
介護保険外のサービスを利用するシステムはありますか。	介護保険対象外のサービスについては、本人に関することや、本人の自立支援及び生活の質の向上を目的とした生活援助や身体介護のサービスを検討しています。

▼プロフィール

石井さんは、小学校教諭として約15年間、勤務されましたが、次女が産産時の早期胎盤剥離で、脳性麻痺を患ったのを機に退職されました。

現在は、4人の子どもの母親として子育てをし、家族の協力を得ながら特別支援員として小学校へ勤務されています。

2006年12月に子育てサークル「ぼちぼち」を結成され、連絡係代表として障がい児の家族とともに、向日市子育て支援センターなどで活動されています。

▼サークル「ぼちぼち」の活動

2006年療育施設に通う送迎バスの中で、「いつでも情

子育てサークル「ぼちぼち」
連絡代表
石井 恵さん



報交換のできる集まりがあったらいいのになあ。」という話から、サークルが生まれました。

はじめは、5家族でスタートしましたが、今では、22家族と大所帯になりました。

障がいはさまざまですが（肢體、知的、ダウン症など）、苦勞や悩みはよく似ていることから、親同士が理解し合える場となっています。

月1回の集まりでは、情報交換、近況報告、ミュージックケア、勉強会、アクセサリー作り、遠足（乗馬セラピー）などを行っています。時には、家族参加型のイベントを計画し、家族間の交流も図っています。

サークル「ぼちぼち」の自慢は、『ありのままの自分』でいられるということです。いつまでも続き、親や家族が

向日市社協では、市内で社会福祉に携わって活躍されている方にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介します。「この人に聞く」コーナーを開設しています。今回は、子育てサークル「ぼちぼち」の連絡代表の石井恵さんに子育てサークル等についてお話を伺いました。

▼ふれあいと思いをやりとり

ホッとできる場所であってほしいと願っています。

石井さんに「このスローガ

ンを実現するために必要なことは？」とお聞きすると、「ひとりひとりが、障がい児（者）のことを正しく知り、理解しようとする気持ちが大切ではないでしょうか。そのためにも定期的に障がい児（者）が、地域の方々とふれあえる場所が必要だと思えます。このよ

うな積み重ねが、心のバリアフリーにもつながっていくのではないのでしょうか。」と話されています。

「親」き後の障がい者の生活を考えると、とても不安になります。障がいのある子どもをかかえる家族が安心して暮らしていくためにも、障が

い児を預かっていただけの施設（就学前の児童デイサービス・一時保育・乙訓圏域での療育施設）の充実と環境整備も必要です。」

また、「障がいのある子どもをかかえる家族は、どうしてもその子中心の生活をおくりがちです。その中でも大切なのは、兄弟姉妹の心のケアです。兄弟姉妹がいろいろなことを感じ、悩み、かっとうしていることも知っていただきたい。」と熱く語っておられます。

最後に、向日市社協へ期待することについてお聞きすると「いつでも気軽に相談できる場と親子が安心して集まれる場を提供していただきたい。」と話されました。

(愛称：むつみん)



向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。今後も市民の皆様に関心と親しみをもち読んでいただけるよう、紙面の充実に向けてまいりたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がありましたら、お気軽にお寄せください。

- 総務係 932-1960
- 地域福祉係 932-1961
- 障がい者地域生活支援センター 932-1990
- 地域包括支援センター 921-1550
- デイサービスセンター 931-3294
- ホームヘルプセンター 932-1968
- 居宅介護支援センター 931-3030
- 福祉会館 931-3322

お問い合わせ先

